

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-282023

(43)Date of publication of application : 29.10.1996

(51)Int.Cl.

B41J 5/44

B41J 2/485

G06F 3/12

(21)Application number : 07-089241

(71)Applicant : HITACHI KOKI CO LTD

(22)Date of filing : 14.04.1995

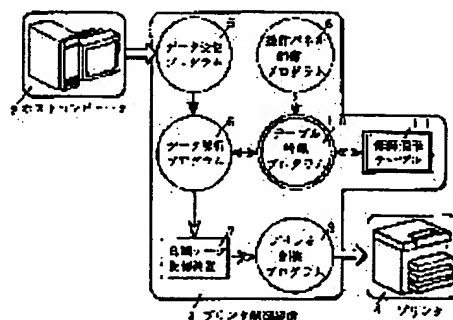
(72)Inventor : KURASHINA MANABU

(54) RECEIVED DATA ANALYZING METHOD FOR PRINTER

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a received data analyzing method for a printer having an operation panel equipped with an input device and a display device, wherein an operator can easily examine a received data from a host computer.

CONSTITUTION: A received data from a host computer 2 is compared with a condition which is previously designated by an operation panel. A data which coincides with the condition undergoes character modification or character style change designated by the operation panel previously. A data which does not coincide with the condition does not undergo the character modification nor the character style change and printed such that all character widths become equal in hexadecimal display and ASCII display. A plurality of sets of combination of the condition and the character modification or the character style change can be designated.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-282023

(43) 公開日 平成8年(1996)10月29日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 1 J	5/44		B 4 1 J 5/44	
	2/485		G 0 6 F 3/12	K
G 0 6 F	3/12		B 4 1 J 3/12	C

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平7-89241

(22) 出願日 平成7年(1995)4月14日

(71) 出願人 000005094

日立工機株式会社

東京都千代田区大手町二丁目6番2号

(72) 発明者 倉科 学

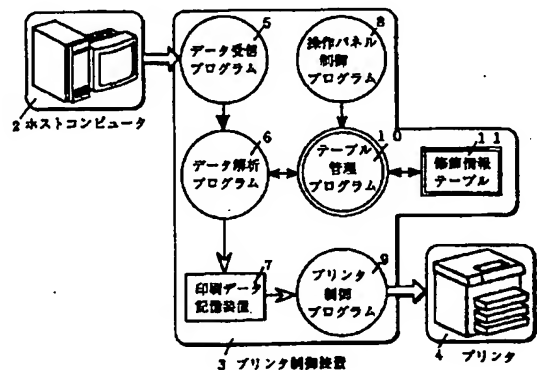
茨城県ひたちなか市武田1060番地 日立工機株式会社内

(54) 【発明の名称】 プリンタの受信データ解析方法

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 入力装置と表示装置を備えた操作パネルを有するプリンタにおいて、ホストコンピュータからの受信データをオペレータが容易に調査できることのできる受信データ解析方法を提供する。

【構成】 ホストコンピュータ 2 からの受信データを予め操作パネルから指定された条件と比較し、条件に合致したデータには予め操作パネルから指定された文字修飾または字体変更を施し、条件に合致しないデータには文字修飾または字体変更を施すことなく、16進表示及びASCII表示で全ての文字幅が等しくなるように印刷する。また、条件と文字修飾または字体変更の組み合わせを複数組指定可能とする。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 入力装置と表示装置を備えた操作パネルを有するプリンタにおいて、

ホストコンピュータから受信したデータのうち、前記操作パネルから指定された条件を満たすデータには文字修飾または字体変更を施し、前記条件に合致しないデータには文字修飾または字体変更を施さずに 16 進表示及び ASCII 表示で全ての文字幅が等しくなるように印刷することを特徴とするプリンタのデータ解析方法。

【請求項 2】 前記文字修飾または字体変更を前記操作パネルから指定できることを特徴とする請求項 1 記載のプリンタのデータ解析方法。

【請求項 3】 前記条件と前記文字修飾または字体変更の指定を組み合わせることで指定できることを特徴とする請求項 1 記載のプリンタのデータ解析方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、ホストコンピュータから受信したデータのプリンタにおける解析方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 一般に、プリンタがホストコンピュータから受信したデータ列の内容を、オペレータが調査する際には、データの内容を 16 進表示及び ASCII 表示で印刷する 16 進ダンプモードと呼ばれるデータ解析方法で受信データを解析させる。従来のプリンタにおける 16 進ダンプモードは、図 3 に示すように全ての 16 進表示データ及び ASCII 表示を一樣な字体で印刷する。

【0003】 以下、図 4 を用いて従来のプリンタにおける 16 進ダンプモードについて説明する。ホストコンピュータ 2 から送られたデータは、データ受信プログラム 5 が受取り、データ解析プログラム 6 に渡す。データ解析プログラム 6 は受け取ったデータを、予め決められている 16 進数の印刷用文字データに変換し、印刷データ記憶装置 7 に格納する。プリンタ制御プログラム 9 は、印刷データ記憶装置 7 に格納されている印刷文字データを読み出し、プリンタ 4 に送り印刷する。こうして得られた印刷結果を参照することにより、オペレータはプリンタがホストコンピュータから受信したデータ列の調査を行なうことができる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 前記のように、16 進ダンプモードによる印刷は、ホストコンピュータから送られたデータの内容をオペレータが調査し、ホストコンピュータ及びプリンタが正しく機能しているか否かを判断するために行なわれる。このとき、改行コード、改頁コード等は、受信データを調査する際の目安とされる。しかし、従来の 16 進ダンプモードでは、全てのデータが一樣な字体で印刷されるため、印刷結果の中から特定のデータ列を捜し出すことは容易ではないという問題が

あった。

【0005】 従って本発明の目的は、従来の問題を解決し、オペレータが調査しやすい印刷結果を得ることのできる受信データ解析方法を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記目的は、入力装置と表示装置を備えた操作パネルを有するプリンタにおいて、操作パネルを介してオペレータがデータ列、またはその範囲、またはそれらの組み合わせを任意に設定できるようにし、さらには文字修飾または字体指定も任意に設定できるようにし、前記オペレータの設定条件に従って 16 進ダンプ印刷時に該当データに網掛けやアンダーライン等の文字修飾を施すことで達成される。

【0007】

【作用】 上記のようにオペレータが指定した任意のデータ列が、文字修飾または任意の字体で印刷されるので、印刷結果の中の特定のデータ列を容易に捜し出すことができる。

【0008】

【実施例】 以下、本発明の実施例を図面を参照して説明する。図 1 は、本発明となるデータ解析方法による印刷結果を示す図、図 2 は本発明となるデータ解析方法を実現するプリンタ制御装置を示すブロック図である。本発明では、従来の 16 進ダンププログラムに対し入力された情報を格納する修飾情報テーブル 11、修飾情報テーブル 11 を管理するテーブル管理プログラム 10 を設けた。また、操作パネル制御プログラム 8 には操作パネルから条件等の情報を入力可能とする機能が付加され、データ解析プログラム 6 には受信データを印刷データに変換する際、文字修飾を加える機能が付加される。操作パネルより入力された条件及び文字修飾情報は、操作パネル制御プログラム 8 を介して、テーブル管理プログラム 10 に渡される。テーブル管理プログラム 10 は渡されたデータを適切なフォーマットに変換し、修飾情報テーブル 8 に格納する。

【0009】 ホストコンピュータ 2 から送られたデータは、データ受信プログラム 5 を介してデータ解析プログラム 6 に渡される。データ解析プログラム 6 は、受け取ったデータをテーブル管理プログラム 10 に渡す。テーブル管理プログラム 10 は修飾情報テーブル 11 の内容と、受け取ったデータを比較し、文字修飾データをデータ解析プログラム 6 に渡す。データ解析プログラム 6 は受け取った文字修飾データをもとに文字幅が同じになるよう配慮して印刷データを作成し、印刷データ記憶装置 7 に格納する。プリンタ制御プログラム 9 は印刷データ記憶装置 7 のデータを読み出し、印刷する。この時、受信データの全体量を把握しやすくするため、文字を均等な大きさの矩形に並べて印刷し、データが 1 頁に満たない場合を除き、全ての頁のデータ量が同じになるようにする。

【0010】本実施例においては、複数組の条件と文字修飾の組み合わせを指定でき、条件が重なることも可能である。例えば、

・組み合わせ1は、データ1B25（16進数）の字体を変更。

・組み合わせ2は、データ1B2536（16進数）にアンダーラインを指定。

【0011】・組み合わせ3は、データ0C（16進数）に網掛けを指定。

・組み合わせ4は、データ1B35（16進数）に網掛けを指定。

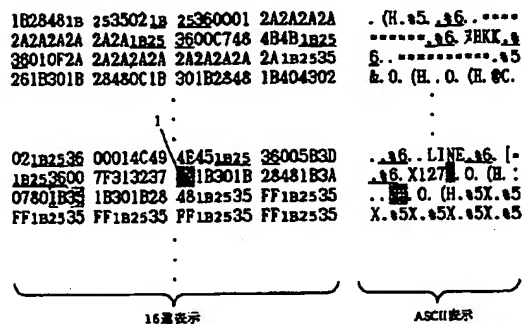
・組み合わせ5は、データ1B2440（16進数）と1B2848（16進数）に挟まれた範囲の字体を変更。

・組み合わせ6は、5回目に受信したデータ0C（16進数）にボールド（強調文字）を指定。

・組み合わせ7は、6回目に受信したデータ0C（16進数）と7回目に受信したデータ0C（16進数）に挟まれた範囲にイタリック（斜体文字）を指定。と指定する。

【0012】このとき、データ1B2536の1B25は字体が変更され、かつアンダーラインを付加されて印刷される。また、5回目に受信したデータ0Cはボールド文字に網掛けが施され、6回目、7回目に受信したデータ0Cにはイタリック文字に網掛けが施される。ま

【図1】



た、組み合わせ1で指定する字体と、組み合わせ5で指定する字体は、プリンタ4が実装している字体の種類の範囲内で任意の字体が指定できる。

【0013】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、受信データ中に散在する目的とするデータを容易に見出すことができ、受信データの内容調査を迅速に行なうことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明となるデータ解析方法による印刷結果を示す図である。

【図2】 本発明となるデータ解析方法を実現するプリンタ制御装置を示すブロック図である。

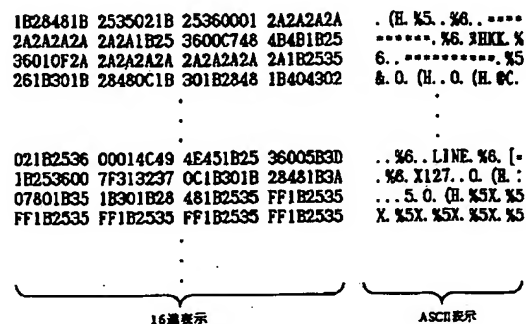
【図3】 従来の16進ダンププログラムによる印刷結果を示す図である。

【図4】 従来のプリンタ制御装置を示すブロック図である。

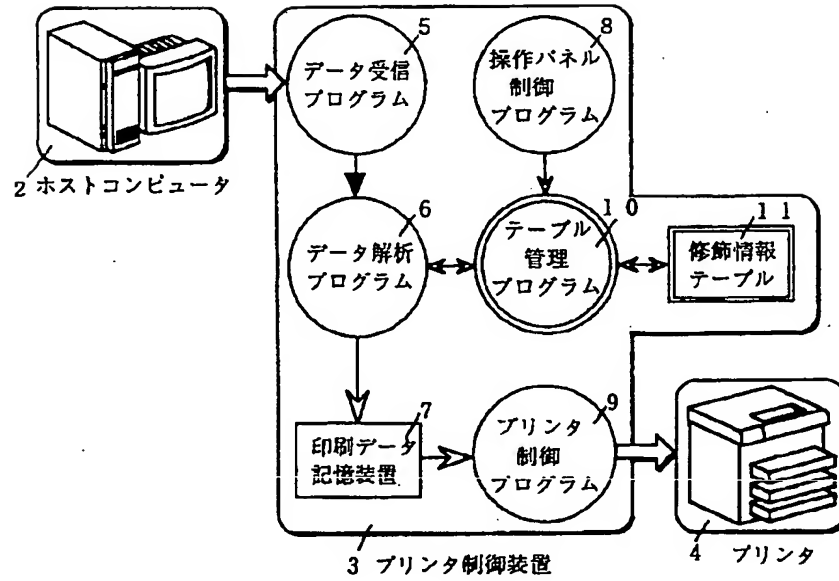
【符号の説明】

1は印刷結果において修飾された部分、2はホストコンピュータ、3はプリンタ制御装置、4はプリンタ、5はデータ受信プログラム、6はデータ解析プログラム、7は印刷データ記憶装置、8は操作パネル制御プログラム、9はプリンタ制御プログラム、10はテーブル管理プログラム、11は修飾情報テーブルである。

【図3】



【図2】



【図4】

